

学校・家庭教育への支援にがんばります

学校教育指導員 はやかわ ひろつぐ 早川 宏次 (前御船小学校長)

学校教育指導員の主な仕事は、子どもたちが目を輝かせて取り組む授業、「できた。わかった」と達成感・満足感を味わえる授業を、各学校の先生方とつくりあげていくことです。そのために、事前に学校から授業をされる先生の指導案をいただき、それを基に授業を参観し、事後に授業についての反省会を持ち、さらによりよい授業にしていくためにはどうすればよいか等を話し合い、先生方が次の授業に生かしていけるように取り組んでいます。

「教師は授業で勝負する」という言葉があります。この言葉は、先生方にとって最も大事な仕事は、日々の授業であるということをはっきりと述べているのです。授業は子どもたちの学習意欲や学力向上とも密接につながっています。先生方と一緒に、授業改善に取り組んでいきたいと思っています。



家庭教育支援員 はやしだ こうぶん 林田 興文 (元広安西小学校長)



熊本県では、家庭の教育力を高めるために、本年度から家庭教育支援員を県内の小学校に配置することになりました。初年度の本年度は、県内に11名が配置され、そのうちの1名が益城町教育委員会に派遣され、広安西小学校に配置されることになりました。

今、子どもたちの姿に目を向けますと、基本的な生活習慣が定着していない等、色々な課題があるように思われます。それらの課題を解決するためには、家庭（地域）と学校とが互いに連携を深め、各家庭の実態に応じたきめ細かな支援が必要になっています。そのお手伝いをさせていただくのが、家庭教育支援員の役割です。

具体的な役割としては、主に次の三点について支援させていただきます。

1. 保護者を対象とした情報紙の発行等、様々な家庭教育情報を提供します。
2. 学校やPTAと連携して、家庭教育に関する学習会を開催します。
3. 保護者や先生方からの求めに応じて、家庭教育に係る相談に対応します。

これらの活動を通して、益城町の各小中学校保護者をはじめ先生方との共通理解を大切にしながら、家庭の教育力が高まるよう支援をさせていただきます。何かご要望・ご相談等がありましたらお気軽にご連絡ください。

生徒指導支援サポーター てらい しげゆき 寺井 茂幸 (前嘉島中学校長)

この度、「熊本の人づくり」を目指す熊本県教育振興基本計画「くまもと『夢への架け橋』教育プラン」が策定されました。

策定するにあたって重視された点が三つあります。

一つ目は、人生のスタートである幼児期における教育が特に重要であり、そこでは、家庭を中心に、子どもたちの基本的な生活習慣や態度をはぐくみ、道徳性や規範意識の芽生えを培うことです。

二つ目は、発達段階やその時に置かれている状況等を踏まえつつ、だれもが幼児期から高齢期に至る生涯のあらゆる場面で学習に取り組み、その成果を生かすことができる社会の実現です。

三つ目は、教育は、学校だけでなく、家庭や地域等、社会全体で取り組んでいくことです。



この三つを柱として、この計画の基本理念を、『未来を拓く「くまもと」の人づくり』としてあります。

私は、去る3月に、わが母校嘉島中学校で、36年間の教職生活を終えました。その間、多くの子どもたち、諸先生・保護者・地域の方々のご支援を受け定年を迎えることができました。特に、益城町には、木山中に10年、広安小に2年の合わせて12年間お世話になりました。私を育ててくれたのは益城町だと、深く感謝しています。この計画を町が受けたと聞いた時、今度は、私が恩返しをしなければとの思いで快諾しました。現在、益城中学校に派遣されています。

この教育プランの趣旨を踏まえ、微力ながら益城町の子どもたちの「夢の実現」を精一杯支援していきたいと思っています。